

普及活動情勢報告（令和4年8月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

ナバナの生産安定に向けて ～十和ナバナ栽培講習会～



十和ナバナ栽培講習会

8月18日、JA高知県十和支所のナバナ生産者を対象に栽培講習会を開催し、17名の参加がありました。

普及所からは、根こぶ病の耕種的防除であるおとり作物の利用や定植作業の省力化に向けたセル苗の活用について説明しました。

生産者の熱心に話を聞く様子が見られ、おとり作物利用による根こぶ病対策やセル苗活用による省力化について理解いただきました。

普及所は、今後も十和地域の根こぶ病根絶に向けて耕種的防除の他に薬剤処理などを組み合わせた指導により、JAと協力してナバナの収量増加に向けて支援していきます。

持続可能な農業生産を目指して ～環境保全型農業直接支払交付金にかかる研修会～



研修会の様子

8月9日、環境保全型農業直接支払交付金の対象農家にみどりのチェックシートの取組に関する研修会を開催し、12名の参加がありました。

普及所からは、みどりのチェックシートの項目についての具体的な取組内容や意義について説明を行いました。

生産者は、昨年からの変更点を確認しながら熱心に話を聞いていました。

普及所は今後も持続可能な農業生産を推進するため、関係機関と連携して支援していきます。

病気に負けるな！！ ～露地ショウガ土壌病害対策への取組～



土壌還元消毒の配管作業の様子

8月4日、普及所は四万十町見付のショウガほ場で、JA、営農支援センター、資材メーカーと協力して土壌還元消毒の実証ほを設置しました。地域の主要品目である露地ショウガでは、根茎腐敗病や青枯病といった土壌病害に悩まされており、その対策の一つとして、土壌還元消毒に取り組みました。

今回の還元消毒では、ふすまや米ぬかと比較して、より深くまで還元することができる糖含有資材を用いました。生産者及び関係機関としても初めての取組であり、課題も見えてきました。これらの課題を解決し、より良い取り組みとなるよう、普及所は今後も生産者及び関係機関と連携し支援していきます。

農薬の適正使用を再確認 ～農薬適正使用指導者等研修会～



研修会の様子

8月2日、JA高知県四万十農協会館及び普及所で、農薬使用者と直接接する機会の多いJA職員と普及所職員を対象に、農薬適正使用について再確認する研修会を開催し、約30名が参加しました。

県専門技術員を講師に招き、農薬による事故を防止するための指導等について学びました。講師からは、農薬取締法の概要、使用基準、農薬事故の事例、事故発生時の対応、農薬安全使用のためのチェック項目など、指導のポイントが説明されました。

JA職員からの日々の業務で気をつける点などの質問とその回答について、普及所職員と情報共有することができました。

普及所は今回の研修を活かして、JAと連携を取り、農薬の適正指導に取組みます。